

園長	副園長	主幹	担当者

年間指導計画

クラス： すみれ（3歳）

年間目標	●保育者との関わりの中で、自分の気持ちや欲求を表せるようになる。 ●身のまわりのこと（食事・排泄・着脱など）を自分でしようとする気持ちを持ち、周りの様子を見て、少しずつできるようになる。 ●安全で活動しやすい環境の中で、全身を使った遊びを十分に行い、お友達と関わっていく。 ●指先を使った遊びをゆっくり遊び、楽しむ。			一年間の保育に対する自己評価
	年間区分	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)
ねらい	●新しい環境になれ、安心して一日を過ごす。 ●保育教諭に見守られ、関わる中で、好きな遊びを楽しむ。	●水、砂、土など様々な素材に触れ、保育者や友達と関わりながら、遊びを楽しむ。 ●1日の生活の流れがわかり、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。	●簡単な身のまわりのことを保育教諭に手伝ってもらいながらしようとする。 ●みんながしている事を、まねしてしようとする。 ●周りの製作活動や、学習活動を見て、同じ教材を使ってみようとする	●寒さに負けず、冬の自然に触れて元気に遊ぶ。 ●友達と交わって遊ぼうとする。
園児の姿	●新しい保育室・保育教諭に不安を見せつつも、少しずつ慣れ、好きな遊びを楽しんでいる。	●友達とのかかわりは少なく、一人遊びが多い。 ●水や砂に触れ、素材の感触を楽しみながら遊ぶ。	●言葉や動作で自分の思いを保育教諭に訴える。 ●自分の好きな遊びに熱中し、集中して遊ぶ。	●自分の好きな遊びを集中して行う。 ●雪に触れ、感触を楽しみながら遊ぶ。
★教育時間 ■ 教育時間を除いた時間	★新しい生活の場に慣れ保育教諭に少しずつ慣れていき、気持ちを受け止めてもらいながら安心して生活する。 ★オムツが濡れていないときは、便器の前に立ってみる。 ■安心して保育教諭の下で園生活を送る。 ■できる範囲内で身の回りの始末などを行いながら、生活できるようにしていく。	★クレヨンや粘土、クーピーなどの様々な素材に触れる。 ★玩具の片付けをしようとする。 ■衣服の着脱を自分でしようとする。 ■水遊びや泥遊びなどの遊びを通し、感触を楽しむ。	★散歩などを通して、戸外での遊びを楽しむ。 ★体を十分に使って、運動遊びをする。 ■箸を正しく持って食事をしようとする。 ■お友達や異年齢児と手を繋いで散歩に出かける。	★雪や氷に触れ、感触を楽しむ。 ★進級する保育室に慣れる。 ■ゆったりとした雰囲気の中で休息する。 ■食器に手を添え、箸を使いながらこぼさないように食べようとする。
■環境構成 ★ 援助・配慮	■前年度に遊び慣れた玩具や遊びを継続できるように、前年度担任から引き継ぎ整える。 ★安心して生活できるように、本児の気持ちに寄り添う。 ★スキンシップを多く取りながら、コミュニケーションを取り、安心して過ごせるようにする。	■日々、同じ流れの中で生活できるように、衣服や玩具の置き場所を決めておく。 ★着替えなど、少しでも出来そうなことは一緒に取り組み、出来たことは十分に褒める。	■活動に合わせた衣服の調節をし、活動しやすい環境を整える。 ■興味を引く教材を準備し、素材に触れられるようにする。 ★少しでも友達と関わりを持てるよう、保育教諭が援助する。 ★本児が十分に戸外遊びを楽しめるように、保育教諭も配慮する。	■室内温度、湿度、換気に気を配り、本児が快適に生活できるようにする。 ■進級する保育室に遊びに行き、慣れておく。 ★出来た事を十分に褒め、喜びを感じられるようにする。
子ども・子育ての支援（保護者支援）	●保護者が安心して園児を園に送り出せるよう、送迎の際に一人一人の園での様子を詳しく伝えたり、おたよりや掲示物で園全体の様子が分かるようにしたりする。 ●保護者の不安をぬぐえるよう、悩みは早めに聞いて、共に解決できるよう援助する。	●入園、進級からこれまでの園児たちの心身の成長を伝え、園生活を楽しめるようになってきたことを共に喜ぶ。 ●夏祭りへの参加を呼びかけ、園児と一緒に楽しむ中で、園への親しみを感じてもらおう。	●行事への取り組みの様子やねらいを分かりやすく伝え、今行っていることが子どもたちの成長とどのように関係しているのかを理解してもらおう。その上で、子どもたちの活動を家庭からもサポートしてもらえるようにする。	●生活や遊びの中での教育的効果を伝え、保育教諭等がどのようなねらいを持って園児たちとかかわっているかを分かりやすく伝える。そのことが進級へとつながっていることも伝え、進級に対する保護者の不安が期待に変わるよう援助していく。
行事	誕生会, 避難訓練, 身体計測, 入園・進級式, ,	避難訓練, 身体計測	避難訓練, 身体計測	避難訓練, 身体計測